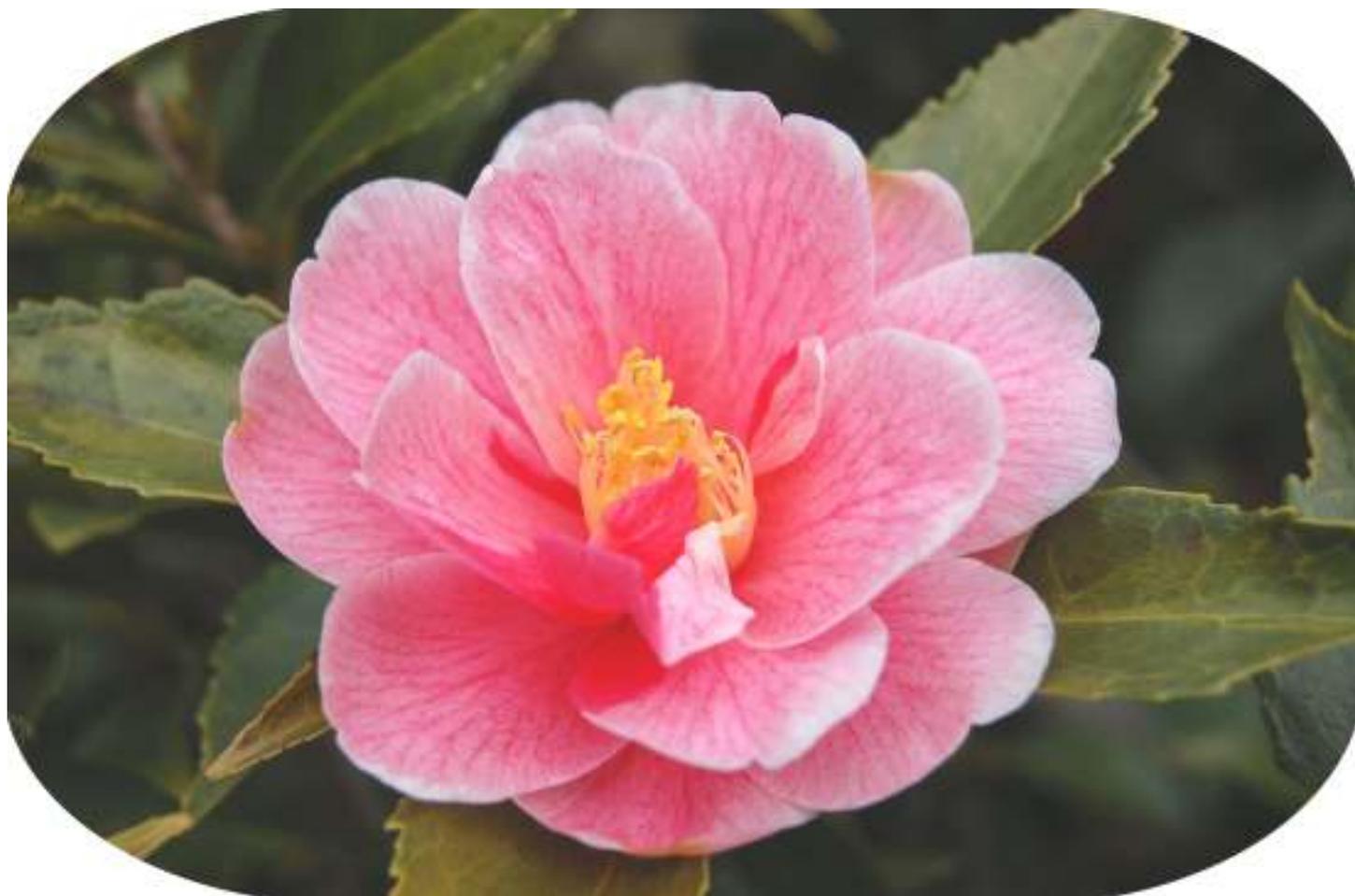


緑化だより

No.25 平成20年3月号



ツバキ園 覆林一休（平成19年3月29日撮影）

○19年度緑化写真コンクール

入賞作品決定

○きのこウォッチング

○樹のあれこれ

○花だより

○研修会・イベント報告

○研修会・イベント紹介

○お知らせ・案内

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://www.hiroshima-cdas.or.jp/ryokka-c>

E-mail ryokka-c@hiroshima-cdas.or.jp

平成19年度緑化写真コンクール 入賞作品決定!!

2月22日(土)に行った緑化研修会『冬の写真教室』において、平成19年度緑化写真コンクール入賞作品が決定しました。

今年は、37名:85作品の応募があり、特選1名、入選3名、佳作5名の9名の方が入賞されました。

入賞した作品、及び応募された方各1点をレストハウスにて4月6日まで展示いたします。また、入賞された作品は緑化センターオリジナルカレンダーにも掲載いたしますので、ぜひご覧ください。

引き続き、20年度も実施いたしますので、皆様のご応募お待ちしております。
(敬称略)

賞	作品主題	氏名
特選	成果を求めて	青木 敏夫
入選	夜明け	黒瀬 正一
	砂山で遊ぶ子供たち	岩井 武徳
	氷結の湖	岡島 幸子

賞	作品主題	氏名
佳作	寒桜	末岡 一登
	秋の一日	佐伯 佳正
	秋葉模様	佐々木 浩壮
	雲海	大久保 敏子
	トントンがトントン	田代 哲夫

特選



撮影者のコメント
写真教室の成果を求め、黄葉樹見本園を中心に、最高の秋色 それぞれがポイントを探す姿は真剣そのもの

秋の一日。秋色の中、自然の中で散歩する人達の姿が楽しげである。

『成果を求めて』 青木 敏夫

入選



撮影者のコメント

光と影と雲海をテーマにして、敢えて条件を曇りに選んだ。雲の隙間から瞬時に光る光景はとても綺麗だった。

ドウダンツツジとメタセコイアの色が秋の情景を描いていて美しい。

『夜明け』黒瀬 正一



撮影者のコメント

秋の祝日、自然の中で子供たちが元気よく砂山で遊んでいる姿が楽しげであった。

公園の砂山で子供たちが楽しく遊んでいる姿がよく写しだされている。

『砂山で遊ぶ子供たち』岩井 武徳



撮影者のコメント

冬しか見れぬ雪と氷結の景色の美しさと。凍結した氷の隙間をぬって遊泳するカモとアヒルの仲のよさに見蕩れてうっとりしながら撮りました

冬の凍った池でアヒルとカモが遊んでいる姿がよく写しだされている。

『氷結の湖』岡島 幸子

佳作

撮影者のコメント
テレビを見て開花を知り撮影に行った、
天気も良くラッキーであった。

撮影者のコメント
燃えるような、アメリカフウの小道を散策する
親子連れは美しい。自然に溶け込んで、秋
の一日を満喫されたことであろう。



フウの紅葉の下を散策しているファミリーの姿が良い情景である。『秋の一日』佐伯 佳正

撮影者のコメント
前景にドウダンツツジ、後に黄葉の 2 本の木をバック
に山肌を構成しその中に木のサク、建物の屋根を少
し取り込んで緑化公園らしい雰囲気を出したかった。



クロガネモチの実と雲海が晩秋の情景を静かに描いている。『雲海』大久保 敏子

撮影者のコメント
身近に雲海が見られると幸を感じました。



寒桜が咲いている情景が美しい。
光が綺麗である。

『寒桜』末岡 一登



ドウダンツツジの紅葉が美しい。秋の
爽やかな空気が感じられる。

『秋葉模様』
佐々木 浩壮



撮影者のコメント
皆さん注目の中、慎重な手つきの子供さんの参加も始めてと思います

男の子が七草を料理している情景がおもしろい。

『トントン』田代 哲夫

きのこウォッチング

アミガサタケ・・・きのこらしくない形の上、きのこのシーズンでない3～4月にしか発生しないので、注意していないとなかなか目に付きません。フランス料理の食材にされるためヨーロッパでは珍重されていますが、日本では見向きもされていません。切って見ると、中は空洞でピーマンのようです。道端や畑地などに発生します。



アミガサタケ



アラゲキクラゲ

アラゲキクラゲ・・・背面に白色の細毛があり透明感は少ないです。ややかたいゼラチン質でコリコリとした食感があり、中華料理に使われます。耳のような形になるので漢字は木耳(キクラゲ)と書きます。広葉樹の枯れ幹に発生します。近縁種の**キクラゲ**は白色の細毛がほとんどなく透明感があります。

クロハナビラタケ・・・全体が黒色で形は花びら状です。表面には顕著なしわがあり、肉質は革質です。広葉樹の倒木などに発生します。有毒で激しい腹痛と下痢をおこします。類似種の**クロハナビラニカワタケ**(不食)とは外見で区別しにくい時がありますが、分類学上遠い種類なので、顕微鏡で見ると容易に区別できます。



クロハナビラタケ

樹のあれこれ

『ハナノキ』 カエデ科カエデ属



ハナノキ:開花

「県木の森」入口に大きな木があります。雌雄異株の落葉高木で花が咲く時(去年は 3/23 開花)には、この木を訪ねて来られる人もいます。横の散策路を進むと**ハナノキ**が 20 本ほど並木に植えられていますが、まわりの樹が大きくなり被圧されています。

新芽が出る前に赤い小さな花を咲かせ、全体が赤く見えます。日本固有種で愛知・岐阜・長野・

滋賀県のみ自生します。愛知県の「県の木」に指定されています。秋に落葉した時は、地面が紅葉・黄葉に混じって葉裏の白いのが目立ち綺麗です。近縁種の**アメリカハナノキ**は、多目的広場の入口にあります。(緑化センターのハナノキは雄株です)



ハナノキ:雄花

花だより

『早春の花色』

二月も後半になると木々の花芽も動き始めます。今回は早春に咲く花色について気くばりをしてみましょう。

ロウバイ(ロウバイ科)、サンシュユ(ミズキ科)、アテツマンサク・トサミズキ・ヒュウガミズキ(以上マンサク科)、ダンコウバイ・アブラチャン・シロモジ・カナクギノキ・クロモジ(以上クスノキ科)、キブシ(キブシ科)、レンギョウ(モクセイ科)・・・等でいずれも黄色い花であるのに気付きます。黄色い花が終わりますといよいよ白やピンクを主とする花が開花して春爛漫の時期を迎えます。

どのような理由でこのような黄色の花が早く開花するのか、まだ書物や文献で見たことも話に聞いたこともありません。

どなたかこれらの現象についての情報をお持ちであればお知らせ下さい。



ロウバイ 08/1/17 撮影



サンシュユ 07/3/27 撮影



アテツマンサク 07/2/25 撮影



トサミズキ 07/3/29 撮影



ヒュウガミズキ 07/3/27 撮影



ダンコウバイ 07/3/21 撮影



アブラチャン 07/3/16 撮影



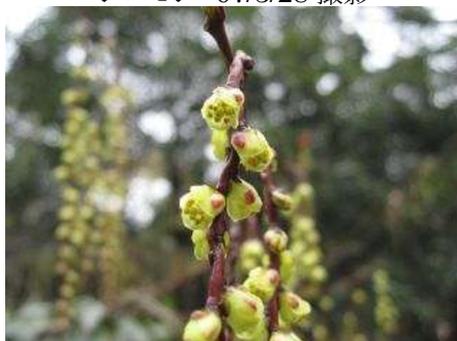
シロモジ 07/3/28 撮影



カナクギノキ 07/3/21 撮影



クロモジ 07/3/23 撮影



キブシ 07/3/28 撮影



レンギョウ 06/4/7 撮影

研修会・イベント報告

2月11日(月)『冬の自然探勝』

1月に降った雪が所々残っている中、緑化研修会『冬の自然探勝』を開催しました。当日の朝、NHK おはようラジオで電話取材をして頂いたこともあり、寒い時期の自然観察会にも関わらず、45名の方が参加されました。

管理事務所から県木の森→ハナノキの道→東山作業路→薬草園を通る散策路を歩きながら冬芽や幹肌などを中心に観察会を行いました。今号の花だよりで紹介しているクスノキ科の樹木(クロモジ・アブラチャン・カナクギノキ・シロモジ・アオモジ・ヤマコウバシ・ダンコウバイ)の落葉期の特徴や見分け方



なども観察しました。林内の散策路は幅が狭く、後ろの方は講師の声が聞こえない状況になりましたが、好天にも恵まれ、冬の散策を楽しまれたのではないのでしょうか。

20年度も定期的に観察会を行う予定です。それぞれの季節の違いを観察してみてください。

2月23日(土)『冬の写真教室』

平成19年度の緑化写真コンクールの入賞作品の発表と全作品の講評を行いました。応募数は、37名:85作品と昨年より少し増えました。

作品の撮影時期を見ると、紅葉は半数の42作品、その他十月桜や実、雲海、雪など秋～冬に掛けて撮影されたのは13作品という内容でした。その他、ヤマボウシ・アジサイ・ツツジ・キンシバイ・アケボノソウ・タイサンボクなど花の写真や新緑の風景、春のサクラや昆虫などがありました。

年々、デジタルカメラの性能は向上し、値段は安くなっており、カメラを持って園内を歩いている人も多く見かけるようになりました。

来年度も引き続き緑化センター内で撮影された写真を対象に緑化写真コンクールを行う予定なので、気軽にご応募していただけたらと思います。(平成20年度は11月に緑化写真コンクールの審査・発表を行う予定です)



研修会・イベント紹介

○3月9日(日)『早春のバードウォッチング』 9:00～12:00 管理事務所前集合
双眼鏡持参 講師:日鳥連会員 吉見 良一 先生

冬鳥を中心に野鳥観察会を行います。先日高陽中学校の生徒が職場体験に来られた時に実施した野鳥観察(2月7日)では、キクイタダキ・ルリビタキ・ジョウビタキ・シロハラ・アトリ・メジロなど 18 種類の野鳥を観察したり、声を聞いたりすることが出来ました。

○3月18日(火)『早春の自然探勝』 10:00～12:00 管理事務所前集合
講師:植物研究家 中塚 道則 先生

寒暖の差が大きくなり、春はもうすぐ目の前という時期であり、早春に咲く花が競い合うように咲き始める時期でもあります。春の訪れをセンターで感じてはいかがでしょうか。

○3月28日(金)『早春の樹木を見て歩こう』 10:00～12:00 学習室集合
講師:植物研究家 清藤 徹 先生

昨年のソメイヨシノの開花は全国的に早く、緑化センターの開花も3月27日と平年より早く咲きました。今年は、平年並みという予報も出ており、当日、ソメイヨシノは開花していないかもしれませんが、早咲きの修善寺寒桜や小彼岸などは花が見られるかもしれません。

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

◎ 平成 20 年度緑化研修計画について

20年度の緑化研修計画は調整中です。今年はいこれまでの内容に加え、きのこ関係、樹木医による講習、木の実工作、注連縄作りなどの体験などを予定しています。自然探勝は、『〇月の自然探勝』として、毎月第2金曜日に行う予定です。皆様のご参加お待ちしております。尚、人数制限があるものや予定を変更する場合がありますので、事前にご確認下さい。

◎ 展示会のお知らせ

○緑化写真コンクール作品展 4月6日(日)迄 展示場所:レストハウス

入賞作品と応募された方すべての作品(代表1枚)を展示しています。センター内で撮影された作品をゆっくりご覧下さい。

○緑化センターのツバキ写真展 展示場所:緑の相談所

センター内で撮影されたツバキの写真を展示しています。園芸品種は215品種、600本ほどあります。3月末～4月がツバキ園の見頃になります。

謝辞

昭和61年から緑化写真コンクールの講師を務めていただいていた大藤薫先生が今年度を持ちましてセンターの講師を辞められることになりました。長期間に渡り、ご指導を頂きました。感謝を申し上げます。